

JFM だより

vol. 24

INDEX

- 01 融資の実
- 05 がんばる公営競技
- 07 地方支援ダイアリー
- 09 金融ひとくちメモ
- 13 人事交流日記&ふるさと紹介
- 14 編集後記
- 15 機構からのお知らせ
- 15 私たちもJFM債買ってます!

[JFMとは、**J**apan **F**inance Organization for **M**unicipalities の略称です。]


Feature

兵庫県西脇市 西脇市茜が丘複合施設



地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities



融資の実  機構の融資が、どのように活かされているかをご紹介します。

Feature 兵庫県西脇市 西脇市茜が丘複合施設

4つの機能を併せ持った複合施設 人々が集い交流する拠点を目指して

平成27年10月にオープンした「西脇市茜が丘複合施設」は、4つの機能を兼ね備えた複合施設です。それぞれに充実した設備を擁するだけでなく、訪れる人たちが自由に交流できる場づくりに力を注ぎ、幅広い世代の方が集う拠点となっています。

まちの“未来へ”つながる新たな交流の拠点

西脇市茜が丘複合施設(愛称:Miraie(みらいえ))(以下、Miraie)は、『人つどい 人つながり 人はぐむ 交流の場』というコンセプトのもと、兵庫県西脇市の南部、野村町茜が丘に平成27年10月にオープンしました。

『Miraie』という愛称は全国から公募し、最終的には市民による投票によって決まりました。『未来へ』と『未来の家』という2つの意味が込められており、まちの未来へとつながる市民の新たな交流拠点(サードプレイス)を目指しています。(西脇市都市経営部総合企画課・藤井善之Miraie施設長/「)のコメント以下同)

Miraieの整備方針は平成22年に策定されました。その後、検討会や意見交換会などにより市民の声も取り入れながら基本計画を策定し、25年に本体工事に着手、27年10月にMiraieがオープンしました。西脇市では、Miraieの建設財源の一部に合併特例債を活用しています。

地域を活性化する4つの機能を複合

Miraieは、市の新しい知の拠点となる『図書館』、子ども・子育て支援の中心となる『こどもプラザ』、男女共同参画社会づくりを進める拠点となる『男女共同参画センター』、市民のコミュニティ活動の拠点となる『コミュニティセンター』の4つの機能を併せ持っています。

明るく開放的な空間に約21万冊を所蔵する図書館では、ICシステムを導入し、自動貸出機による貸出を行っています。さらに、兵庫県では初の試みとして『読書通帳機』も導入しています。これは、預金通帳と同じように、専用の装置によって貸出図書さまざまなデータを記帳するもので、平成28年には年間580冊の借入を記録した利用者もいました。

こどもプラザは、子どもたちに健全な遊びの場を提供する児



▲ 図書館



▲ 図書館

童館と、子育て中の保護者の方をサポートする子育て学習センターの機能を併せ持っています。こどもプラザにはエア遊具や知育玩具等を備えるとともに、利用者の声を活かして、遊びのエリアを年齢別で区切るなどの工夫をしています。また、『子育てコンシェルジュ』や『プレイサポーター(臨床心理士)』といった職員が、子育てに関するさまざまな相談に対応しています。

「図書館は、こどもプラザと隣接していることから、子ども連れで入館される利用者の方も多いです。そんな人たちにも気兼ねなく利用してもらえよう、『賑わいのある図書館』をコンセプトの一つに掲げています。一方で、静かに読書したい方のためにサイレントコーナーを設けるなどの配慮も行っています。」

男女共同参画センターでは、女性のための就労相談や起業セミナーの他、『イクボス』や『パパサークル』に関わるフォーラムなど、性差に関わらない多様なイベント等も開催していきます。

地域の重春・野村地区の地区会館でもあるコミュニティセンターは、会議室や調理室、音楽室の他、最大300名収容可能な多目的ホールを備え、多くのイベント等に活用されています。

また、Miraieは、防災倉庫や地下に40tの耐震性貯水槽を設置するなど防災機能も有しています。



▲ ビューループ

▲ こどもプラザ



融資の実 「日本のへそ」というユニークなコンセプト.....



▲ へそ公園

西脇市は兵庫県のほぼ中央部、東経135度と北緯35度が交差する日本列島の中心に位置しています。その地理的な特徴に着目して、西脇市では「日本のへそ」というネーミングのもと、さまざまなキャンペーンに取り組んでいます。中心にあたる地域には「日本へそ公園」があり、「日本のへそ・西脇子午線マラソン大会」や「へその西脇・織物まつり」など、ユニークなイベントを開催しています。また、世界的な美術家、横尾忠則氏の出

身地でもあり、壁画の作品がある岡之山美術館も観光スポットとして知られています。

市内には加古川、杉原川、野間川の3河川が流れます。200年以上の歴史と伝統を誇る「播州織」は、このような豊かな水資源を活かして発展してきた産業です。あらかじめ染めた糸を使ってさまざまな柄を織り上げる手法が特徴で、全国の先染織物の約7割が西脇市を中心とした地域で生産されています。最近で

人が集い交流する拠点として

「Miraieは4つの施設を複合しているだけでなく、訪れた人たちが自由に交流できるように、フリースペースを随所に設けるなど、『新しい出会いや発見の場』となるような仕掛けづくりに取り組んでいます。」

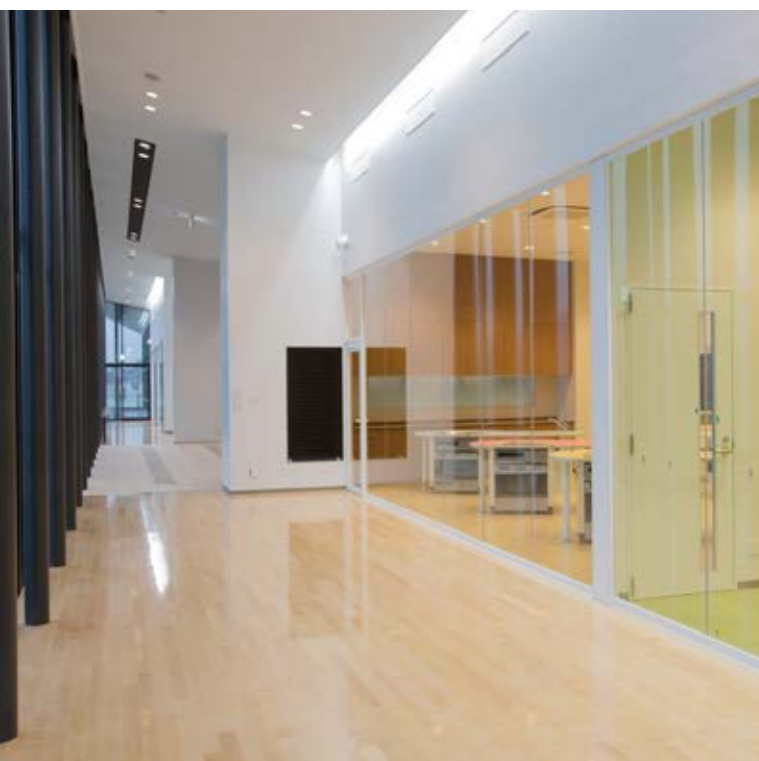
西脇市では、Miraieの開設にあたって年間20万人の利用者を想定していましたが、その予想を大きく上回り、オープン後1年間の利用者は約47万人に達しました。オープンから2年を過ぎた平成29年秋には、累計利用者は100万人を突破しようとしています。

利用者層も多彩で、平日を例にとると、午前中から午後3時頃までは親子連れや年配の方が、それ以降の時間帯では、時間の経過に伴い、小学生、中学生、高校生と利用者の層が移り変わり、幅広い世代の方が集い交流する拠点としての機能を発揮しています。

「市外の利用者も約3割を占め、予想を超えて広い地域の人々に利用されていることがわかりました。より多くの人たちに西脇市にお越しいただけるように様々なイベントの開催や情報発信にも力を入れていきます。Miraieの存在がきっかけとなって西脇市で暮らす人が増えるなど、地域の活性化に貢献できる複合施設を目指して、今後も積極的な取り組みを進めていきます。」



▲ 情報コーナー



▲ ラウンジ



▲ 多目的ホール

は、デザイナーとコラボレーションした斬新な生地づくりにもチャレンジしています。

食べ物では、約8割が神戸ビーフとして出荷される黒田庄和牛が有名です。ご当地グルメとして、この和牛を使ったローストビーフも誕生しました。もうひとつの人気グルメは、播州ラーメンです。甘めの醤油系スープが特徴で、休日にはこのラーメンを目当てに、遠方から訪れる人も数多くいます。



▲ 播州織



▲ 岡之山美術館



▲ 黒田庄和牛

兵庫県西脇市

西脇市

人口:41,260人(平成29年10月1日現在)

世帯数:16,916世帯(平成29年10月1日現在)

面積:132.44km²